

ほけながまら夏祭

令和3年7月1日 あいあい浜寺中央こども園

雨や曇り空の多かった梅雨が終わると、いよいよ夏がやってきます。熱中症にも注意が必要です。暑くなり始めの時期は、暑さに慣れておらず体調を崩しやすくなります。体調管理に十分気をつけて元気に過ごしましょう。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、今年のプール遊びは中止です。
健康と安全を第一に考え、今年は水遊びに変更して実施します。



水遊びのある日は、念入りに健康観察をしましょう。



- *熱はありませんか？ *咳をしたり、鼻水が多かったりしていませんか？
- *おなかを痛がったり、下痢や便がゆるかったりしていませんか？
- *結膜炎や中耳炎など、目や耳の病気ではありませんか？
- *普段と様子が違うなど、病気にかかっている様子はありますか？

※健康状態が思わしくない時は、登園を控え自宅療養しましょう。37.5℃以上の発熱があった場合も、登園を控えてください。解熱後24時間以上経過してから、登園してください。風邪症状で治療中の場合も、症状が改善してから登園してください。

熱中症に気をつけましょう

乳幼児期は、大人より新陳代謝が活発で体温が高いのが特徴です。しかし汗腺の発達が未熟なため、うまく体温調節することができません。

顔が赤い、汗を大量に書いている こんな時は要注意。のどが渇いてなくても水分をとるようにしましょう。衣服も気候に合わせて選んでください。日よけつきのベビーカーでも照り返しの熱からは逃げられません。



子どもを乗せたまま長時間、日なたにいるのは避けましょう。
夏のやけど 日差しに熱せられた遊具やアスファルトは、人の体温よりもはるかに熱くなっています。公園などで遊ぶときは、気をつけましょう。

※2歳未満の子どものマスクは危険です。窒息のリスクや、熱がこもって熱中症のリスクが高くなるので使用するはやめましょう。

夏に多い感染症に気をつけましょう

手足口病・・・手のひらや足の裏、足の甲、口内などに発疹ができます。

食事がとりにくくなるため脱水に気をつけましょう。

ヘルパンギーナ・・・突然の高熱が3日間ほど続き、喉や上あごに水疱が

できます。喉の痛みがひどい場合、飲食ができず脱水症状を起こすことがあるので、注意が必要です。熱が下がって水分や食事がとれるようになるまでお休みしましょう。

咽頭結膜熱(プール熱)・・・38~39℃の高熱が5日程続き、結膜炎、喉の痛みやリンパ節の腫れなどの症状ができます。主な症状(発熱・咽頭発赤・目の充血)がなくなって2日経過するまでお休みしましょう。※医師の登園許可書が必要です。



今月の保健行事

- *乳児身体測定(0~2歳児)・・・14日(水)
- *幼児身体測定(3~5歳児)・・・15日(木)
- *聴力検査(3~5歳児)・・・※別途、お手紙配布します

6月感染症発生状況

- *突発性発疹症・・・3名
- *ヘルパンギーナ・・・1名
- *RSウイルス感染症・・・3名
- *アデノウイルス感染症・・・2名

